

環境美化を考える会 長崎県西海市大島町

代表
田口昭子さん



長崎県北西部、西海市西海町と呼子ノ瀬戸を隔てて浮かぶ西海市大島町。平成11年に大島大橋が完成したことで九州本土とつながり、観光地としての利用者也増えました。この大島大橋のたもとで清掃活動が続けているのが「環境美化を考える会」。取材日はゴールデンウィークが明けた5月9日。小雨が降る中でしたが熱心な清掃活動を天気が応援するように、じわじわと雨が上がり出しました。

清掃を始めたのは大島大橋が開通した平成11年。代表の田口昭子さんが病気を克服した後、「町に何か恩返しできれば」と考え大島町内のゴミ拾いをしたことからスタートしました。最初は1人でしたが田口さんの姿を見て、協力したいとメンバーが自然と増え、一緒に清

掃してくれる人数は今では100人以上。毎月1回、第1月曜を基本に集まっています。

「せっかく立派な大島大橋ができたので大切にしたいですね。大島に来てくれた人たちがいい町だったな、キレイな町だったなと気持ち良く帰ってもらいたいと思っています。清掃後の枝や葉は肥料にして畑にまいて、幼稚園や小学校などで野菜を育て、自然を大切にする心を一緒に学んでいます。夏にはナスやトマト、冬は蕎麦などができるんですよ」と代表の田口さん。「この前も小学生から「いつもありがとう!」と手紙をもらったり、清掃中に差し入れをいただいたり、町民のみなさんの感謝の言葉が嬉しくて頑張っています」と笑顔がこぼれていました。

町内の清掃活動以外にも不法投棄のパトロールや、大島町で開催されている長崎トライアスロン大会での炊き出しを行うなど多方面での活動が評価され、平成22年には国土交通大臣表彰を受賞しました。「町民のみなさんに元気をもらいながら、これからも自然や道路を大切にする気持ちを子供たちにも伝えていきたいです」と抱負を語ってくれました。

道路に感謝する気持ちを大切に、
大島の美しい自然と町を守りたい。

